

超軽量用天秤

簡単な材料で低学年でも簡単に工作できますが、小さな紙切れでも「重さ」を持つことを確認できる優れものです。

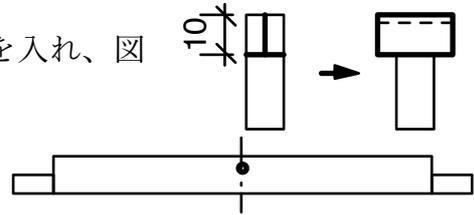
◇用意するもの

工作用紙（15 mm 四方）、エナメル線（10 cm 程度）、ストロー、千枚通しなど先の尖ったもの、はさみ、セロハンテープ、ホチキス針、パンチ紙、ピンセット

◇作り方

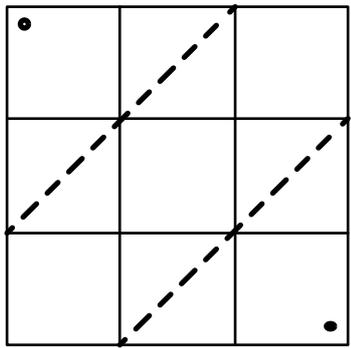
・天棒の作成

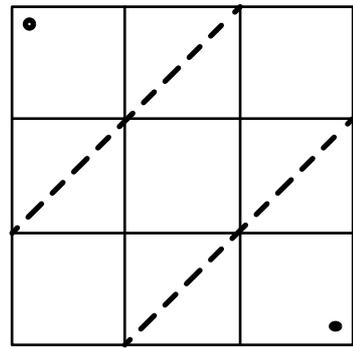
ストローの両端の同じ側に 1 cm 程度の切り込みを入れ、 のように左右に切り込みを入れ開く。端数ミリを、内側に折って折り目をつける。開いた面が上になるようにして、ストローの中心に千枚通し



で横穴を空ける。穴は貫通させ、真ん中よりやや上になるように空ける。

・台の作成、組み上げ

工作用紙の角の内側約 5 mm のところに千枚通しで穴を空け、斜めに 3 等分した線（ の点線部）で折り曲げる。穴と穴の間にストローを入れ、エナメル線を通す。エナメル線の端は折り曲げて、台に固定する。セロテープの小片を用い、天秤が水平になるようバランスを取る。



◇使い方

ホチキス針 1 個やパンチ紙 1 枚をピンセットで皿に載せ、重さがあることを確認する。

※ ホチキス針 1 個 0.02 g、
パンチ紙 1 枚 0.002 g。

